

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	36	事業名	地域福祉推進事業	担当部課	福祉部 福祉施策課
------	----	-----	----------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	6	地域で支え合う福祉の仕組みをつくる			
		施策の進め方	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～			
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①地域福祉推進事業：新施策の調査研究として、福祉自治体ユニットへの参加、体験研修を実施している。 ②社会福祉協議会補助事業：長久手市社会福祉協議会に対して、地域に根ざした地域活動を実施するため補助金を交付している。 ③支え合いマップ策定事業：市民が中心となり、支え合いマップづくりを行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、事業者、市職員					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・高齢者をはじめ市民が自分の住む地域の支えが必要な人を把握し、地域の市民で問題解決を図れるようにしていく。 ・高齢者をはじめ奉仕活動や市民活動を行うことにより、地域の支えの担い手となることにより居場所と役割を与え、活動することにより、健康増進、維持を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 地域福祉推進事業	継続	④			
	② 社会福祉協議会補助事業	継続	⑤				
	③ 支え合いマップ策定事業	継続	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	98,929
人件費(B)	千円	千円	決算	/	/	/	16,040
総コスト(A)+(B)	千円	千円	決算	/	/	/	114,969

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 支え合いマップ策定事業	箇所	箇所	目標			4	6	
				実績			4	6	
	B	箇所	箇所	目標					
				実績					
C	箇所	箇所	目標						
			実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A 事業実施箇所数が地域の支えの担い手の拠点の数であるため、実施箇所の増減により進捗状況の管理を行う。									
B									
C									

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合いマップ策定事業：近隣市町での取組はない。 ・ボランティアポイント：豊明市、日進市、東郷町実施。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果目標を達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 地域福祉推進事業を構成する3つの事務事業(①地域福祉推進事業、②社会福祉協議会補助事業、③支え合いマップ事業)を包括しているが、①、②および③は事業の内容趣旨が異なるため、別事業とされたい。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域のネットワークづくりや住民同士の支援の活動の核となる、支え合いマップづくりを地域住民が自主運営できるように支援していく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域福祉推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

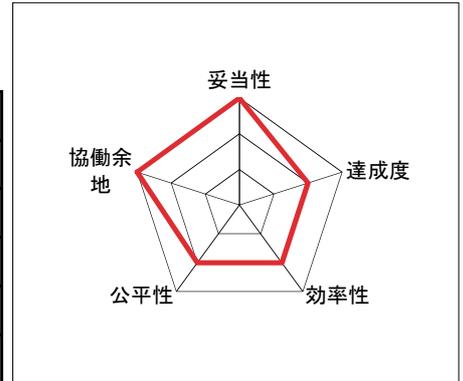
番号	①	事務事業名	地域福祉推進事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 職員が、新しい福祉施策を創造するための調査研究として、福祉自治体ユニットへの参加、体験研修を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 新施策の調査研究を行い、事業化していく。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,026
		決算				2,867

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
体験研修	開催	目標				1	
		実績				1	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

国の最新施策等情報を得て、本市の福祉施策策定に活用するため、積極的に参加する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域福祉推進事業										
番号	②	事務事業名	社会福祉協議会補助事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市社会福祉協議会に対して、地域に根ざした地域活動を実施するため運営費の一部を補助金として交付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 社会福祉協議会を支援し、市の福祉施策と連携して事業を実施することにより、様々な福祉ニーズに対応し、地域住民一人ひとりが、住み慣れたまちで安心して自分らしく暮らすことができる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				97,591
		決算				94,639

3. 活動推移

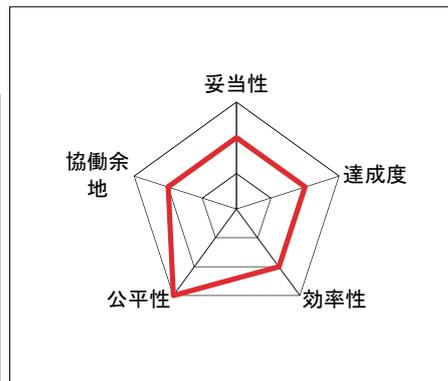
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
会員数	人	目標			7,500	7,600	
		実績			7,552	7,347	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 会員数の減少は、運営費の減少につながるため、事業内容に見合った会員数の確保ならびに自主財源確保の努力を図るよう依頼する。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域福祉推進事業										
番号	③	事務事業名	支え合いマップ策定事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民が中心となり、支え合いマップを作成する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 支え合いの必要性を理解して、地域のつながりを築く。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				451
		決算				451

3. 活動推移

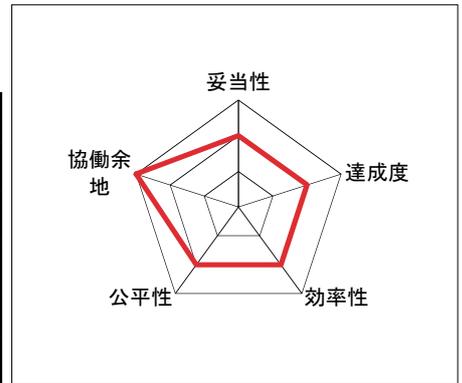
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
マップ策定	箇所	目標			4	6	
		実績			4	6	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 現在、行政と一緒に支え合いマップづくりを行っている地域が、最終的に自主的にマップづくりが行えるよう支援していく。
--